

調査の要領

(業種別調査企業数と回答数の内訳)




























	対象企業	回答数
製造業	74	70
卸売業	27	24
小売業	106	103
飲食業	30	30
サービス業	62	62
運輸業	13	12
建設業	64	62
不動産業	23	22
合計	399	385

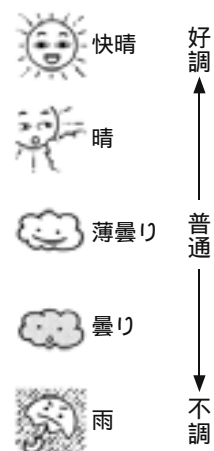
調査時期 9月上旬
 調査内容 平成21年7月～9月の景況
 平成21年10月～12月の見通し
 調査方法 当金庫職員による聞き取り調査
 調査対象 当金庫の取引先
 回答数 385先(回答率96.49%)
 (回収不能 14先)

お忙しい中、ご協力いただきまして大変ありがとうございました。お問い合わせは最寄りの営業店、または企画部《(019)623-2221》までお願いします。
 次回調査(12月上旬予定)にも、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

景況天気図

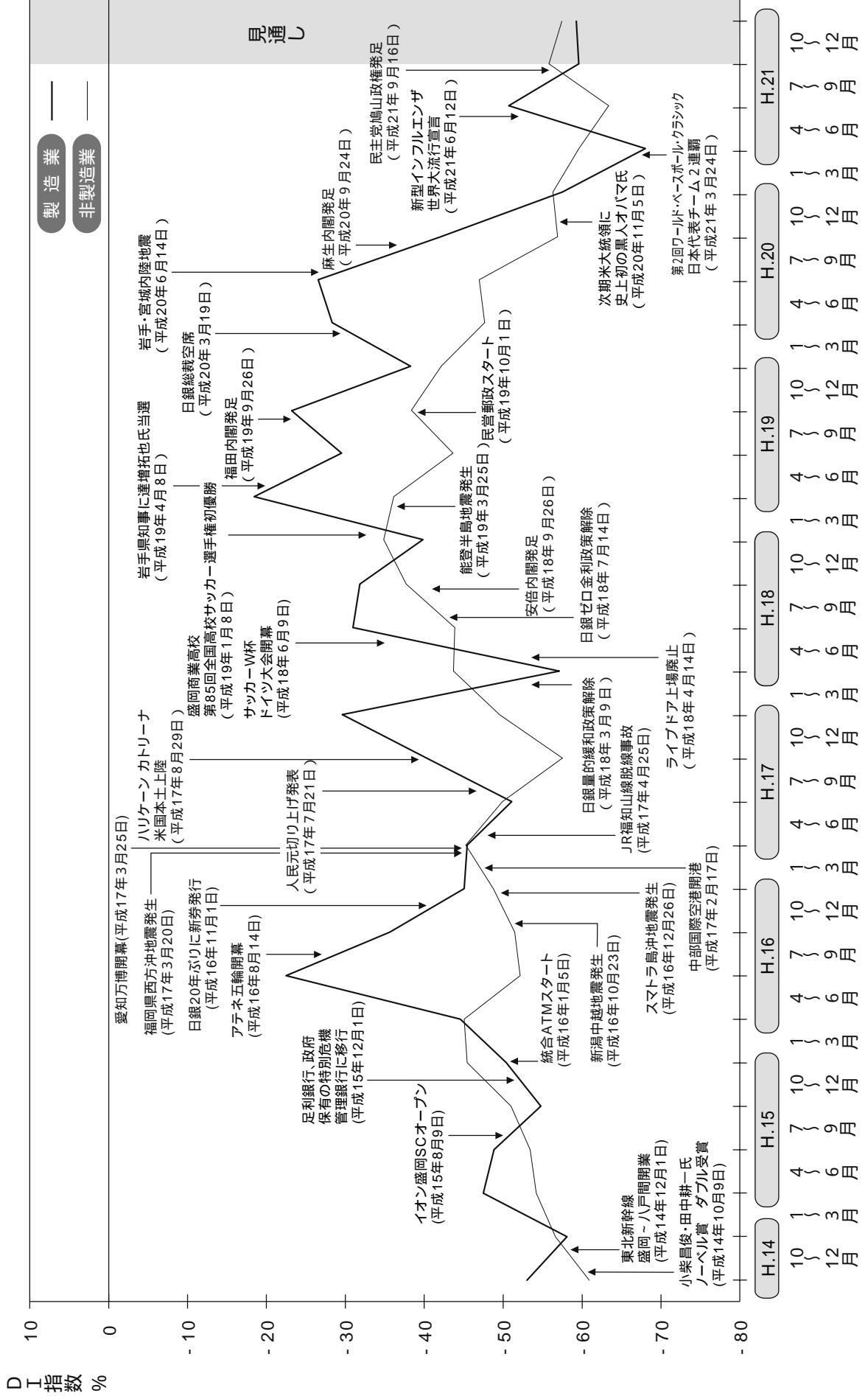
(景況調査の概況)

	平成21年4～6月期	平成21年7～9月期	平成21年10～12月期 見通し
全業種 (総合)			
製造業			
卸売業			
小売業			
飲食業			
サービス業			
運輸業			
建設業			
不動産業			



※この天気図は景況指数を総合的に判断して作成したものです。

製造業と非製造業の業況判断D I (季節調整済)



景況総合判断指数(DI)

平成21年 7 ~ 9月

前 期 *DI	当期(平成21年4月~6月期に比べて)				景 況	見通し(平成21年10月~12月期)			
	増 加	普 通	減 少	*DI		増 加	普 通	減 少	*DI
-61	6	32	62	-56	業 況	9	27	64	-58
-40	17	31	52	-38	売 上 高	18	34	48	-37
-49	12	33	55	-45	収 益	15	36	49	-40
-25	7	66	27	-21	販 売 請 負 価 格	7	69	24	-19
2	17	70	13	3	材 料 仕 入 価 格	17	71	12	3
-1	13	74	13	1	在 庫	10	78	12	-3
-43	3	53	44	-42	資 金 繰 り	4	53	43	-39
-22	4	69	27	-22	残 業 時 間	6	73	21	-18
4	18	69	13	6	人 手	16	70	14	5
-7	6	77	17	-12	設 備 の 状 況	5	76	19	-12

*DI(Diffusion Index)は、増加企業割合から減少企業割合を差し引き、不変(普通)部分を除いて景況を判断しようとするものです。

*「季節調整済DI」は、1年を周期として季節的な変動を繰り返すDIから、季節の変動を除去した動向指数です。

増加・普通・減少は右のように置き換えます。

	増 加	普 通	減 少
業 況	良 い	普 通	悪 い
価 格	上 昇	変 わ ら ず	下 降
在 庫・人 手・設 備 の 状 況	過 剰	適 正	不 足
資 金 繰 り	楽	変 わ ら ず	苦 し い

業種別業況動向

(景況調査の概況)

	平成21年4~6月期		平成21年7~9月期		平成21年10~12月期	
	実 績	前期予想	実 績	前期予想	見通し	
全 業 種 (総 合)	-61	-63	-56	-63	-58	—
製 造 業	-51	-68	-60	-55	-59	—
卸 売 業	-59	-70	-70	-75	-76	—
小 売 業	-65	-59	-54	-66	-59	—
飲 食 業	-83	-58	-74	-79	-56	—
サ ー ビ ス 業	-54	-58	-50	-54	-43	—
運 輸 業	-57	-74	-41	-51	-52	—
建 設 業	-63	-64	-51	-56	-63	—
不 動 産 業	-68	-75	-59	-77	-58	—

*DIは季節調整済 *それぞれの右欄は前期に予想したDIを示す

景況

景況は悪化傾向を弱める

今期(平成21年7月～9月期)の景況は、全業種総体では前期の「横ばいで推移」から、「悪化傾向を弱める」となりました。業種別では製造業、卸売業で悪化傾向を強めましたが、その他の業種で改善となりました。

業況判断指数(季節調整済DI)は、全業種で-56と5ポイント悪化傾向を弱めました。製造業は前期-51から-60と9ポイント下降し悪化傾向を強めました。非製造業は前期-63から-56と7ポイント上昇となり、悪化傾向を弱めました。

売上額は、-38と前期比2ポイント上昇し、減少傾向を弱めました。

収益は、-45と前期比4ポイント上昇し、減少傾向を弱めました。

価格面は、販売価格は-21と前期比4ポイント上昇し、仕入価格も3と前期比1ポイントわずかに上昇しました。

資金繰りは、-42と前期比1ポイント上昇し、窮屈感をわずかに弱めました。

業種別の業況は、製造業は-60と前期比9ポイント、卸売業は-70と前期比11ポイント下降し、悪化傾向を強めました。小売業は-54と前期比11ポイント上昇し、悪化傾向を弱めました。飲食業は-74と前期比9ポイント、サービス業は-50と4ポイント、運輸業は-41と前期比16ポイント、建設業は-51と前期比12ポイント、不動産業は-59と前期比9ポイント上昇し、悪化傾向を弱めました。

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」が69%と前期比1ポイント上昇しました。「同業者間の競争の激化」は39%と前期比1ポイントわずかに上昇しました。「利幅の縮小」は35%と前期比2ポイント上昇しました。

来期の見通し

景況はわずかに悪化

来期(平成21年10月～12月期)の景況は、製造業でわずかに改善し、飲食業、サービス業、不動産業では今期に続き改善するとみておりますが、その他の業種で悪化傾向が強まるとみており、総体的には悪化傾向がわずかに強まるとみています。

業況判断指数は、-58と今期に比べ2ポイント下降し、悪化傾向を強めそうです。

売上額は、-37と今期に比べ1ポイント、**収益**は-40と今期に比べ5ポイント上昇し、減少傾向を弱めるとみています。

価格面では、販売価格は-19と2ポイント上昇し、下降傾向が弱まるとみており、**仕入価格**は横ばいとなるとみています。

資金繰りは-39と今期に比べ3ポイント上昇し、悪化傾向が弱まり、窮屈感は若干弱まりそうです。

業種別の業況判断は、製造業で1ポイント、飲食業で18ポイント、サービス業で7ポイント、不動産業で1ポイント悪化傾向を弱めるとみていますが、卸売業で6ポイント、小売業で5ポイント、運輸業で11ポイント、建設業で12ポイント悪化傾向を強め

るとみています。

雇用の動き

人手は、今期6と前期比2ポイント過剰感が強まりましたが、来期は5と1ポイントわずかに過剰感が弱まるとみています。

残業時間は、今期-22と横ばいで推移しました。来期は-18と4ポイント上昇するとみています。

在庫、設備投資の動き

在庫は、今期1と2ポイント上昇し増加に転じました。来期は-3と4ポイント下降し減少に転じそうです。

設備の状況は、今期-12と5ポイント不足感を強めました。来期は横ばいで推移するとみています。設備投資を実施した先は、今期、全業種総体で車両を中心に17%と2ポイント減少しました。来期は機械設備の更改を中心に12%の先が実施予定とし、今期に比べ5ポイント減少するとみています。

業種別では、今期、運輸業で増加し、小売業、飲食業で横ばいとなりましたが、その他の業種で減少となりました。来期は飲食業、サービス業、運輸業で横ばいとなりそうですが、その他の業種では減少するとみており、総体的にはさらに投資意欲は弱まりそうです。

借入金の状況については、今期、借入れ実施割合が5割を超えたのは卸売業のみで2ポイント増加しました。飲食業では13ポイント、サービス業は5ポイント、建設業は1ポイント増加しましたが、製造業、運輸業は横ばい、小売業、不動産業は減少となり、全業種総体では30%の実施となり前期比1ポイントわずかに増加しました。来期は運輸業、不動産業で増加するとみていますが、その他の業種では減少するとみており、全業種総体では5ポイント減少し25%の実施となりそうです。

借入れの難易度は、「難しい」が23%と前期比2ポイント増加しました。

景況の推移

* 前期比：DI・季節調整済

